

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3188690号
(U3188690)

(45) 発行日 平成26年2月6日 (2014.2.6)

(24) 登録日 平成26年1月15日 (2014.1.15)

(51) Int.Cl.

A61H 7/00 (2006.01)

F I

A61H 7/00 300E

A61H 7/00 300A

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 7 頁)

(21) 出願番号 実願2013-3552 (U2013-3552)

(22) 出願日 平成25年6月5日 (2013.6.5)

(73) 実用新案権者 599106178

蛇口 智佳子

東京都西東京市北町 5-2-31

(72) 考案者 蛇口 智佳子

東京都西東京市北町 5-2-31

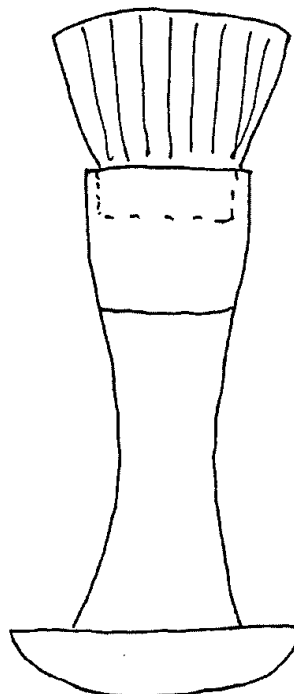
(54) 【考案の名称】 美容器具

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】表情筋のエクササイズ後に委縮した筋繊維などの筋肉をゆるめるためのマッサージ機能と、リンパの流れを活発に促進するための機能を持った美容器具を提供する。

【解決手段】端部的一方がキノコの笠形皿形状であって、他方にはブラシが取り付けられている軸棒からなる美容器具であり、前記皿形状は中央の一部が平らであることを特徴とする。キノコ型底辺の部位が自由に肌に密着するので筋繊維や筋膜まで柔らかなマッサージが可能となる。また、軸棒の先に取り付けたブラシは肌にやさしく接しながら顔全体のリンパ液を先ずリンパ節に流し込み、次に鎖骨にあるリンパ管に流し送る役目を持つ。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

軸棒の両先端の一方にはキノコの笠形状を持たせた円皿形状の部位を設けるが、底辺中央の一部を平らにし、垂直に立てても置いて使えるようにした。また軸棒のもう一方反対側にはブラシ部位を取り付け、軸棒の先端部位の片方がマッサージ機能、反対側には顔肌表面をやさしくなでてリンパを流す目的を持たせた。棒軸の両サイドにそれぞれの機能を持った部位を設けて一体化（図 1）されたことを特徴とする美容器具。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は顔のシワ、たるみを目立たなくするための美顔エクササイズなどの後に、筋肉疲労し硬くなって委縮した表情筋などの筋繊維をもみほぐすためのマッサージ機能と、リンパの流れを促進するための機能を一体化させた美容器具に関する。

【背景技術】**【0002】**

顔面のシワ、たるみを目立たなくするために筋力アップエクササイズを目的とした微弱電流を利用した器具や肌表面を器具をこころがしながら小顔にする等の美容器具は従来から知られているが、この種の器具は皮膚の表皮に刺激を与えて筋肉を鍛え、効果を得ようとするものであるが、筋肉を緩める目的はなく、皮膚を傷めるなどの問題もある。

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

本考案は顔のエクササイズ等の筋肉刺激により委縮し硬くなった表情筋の筋繊維や筋膜などをマッサージをしながらゆるめてほぐし、顔全体の血行とリンパの流れを促進させて代謝をアップし、肌本来の持つ弾力性と柔軟性を回復させて、シワやたるみの悩みを目立たなくするための美容器具を提供するものである。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

上記課題を解決するため、請求項 1 に記載した美容器具（図 1）の底辺にキノコの笠を逆さにしたような円形皿形状の部位を設けた。その部位の表面中心部に軸棒を取り付け、軸棒の上部先端に弾力性と柔軟性を持たせたブラシを取り付けて一体化させた形状を特徴とする美容器具とした。

【0005】

キノコ型底辺の丸みの部位は自由に肌に密着して筋繊維や筋膜までマッサージしながらほぐす役目を持たせ、軸棒の先に取り付けたブラシは肌にやさしく接しながら顔全体のリンパ液を先ずリンパ節に流し込み、次に鎖骨にあるリンパ管に流し送る役目を持たせた。

【考案の効果】**【0006】**

筋力アップを目的として顔面の表情筋を鍛えるエクササイズをすると肌に張りが戻り、たるみやシワの解消になる事は周知の事である。筋肉を鍛える目的でのエクササイズ後は筋肉が疲労し委縮して硬くなり筋肉周囲にある血管やリンパ液を押しつぶし、血液やリンパの流れをせき止めるため老廃物や脂肪や余分な水分がどんどんたまる。筋繊維の間に脂肪が入り込み、霜降り状態の落ちにくい脂肪に変わる。それらの事を解消するために指や手の平を使用してのマッサージや微弱電流を流しての器具などを用いてのマッサージをエステサロンなどで施術されるが、家庭内で主婦自身が同様のマッサージ施術を行うのは、筋肉の奥深くまで柔らかく届くマッサージが必要であるためとても難しい事である。

請求項 1 の形状（図 1）を持つ美容器具はキノコの笠形状をした円形皿状部位の底辺面が顔肌に密着し、筋肉の奥までゆっくり押さ込みながら筋膜から筋繊維までを柔らかくゆるめるマッサージ法を可能とした。家庭内で簡単にエステサロンなどと同様の施術を行う事が出来る器具であり、特に表情筋は体の筋肉とは異なり、骨についているのではなく皮

10

20

30

40

50

膚についている筋肉のため、動かしても骨が動くことはほとんどない。口角を上げたり、まぶたを持ち上げたり、皮膚そのものを動かす役割を果たしている。そのために顔の筋肉の疲労は他に比べて体より目に見えて表れる。又顔を強くこすると肌に負担がかかり皮膚細胞を損傷し、刺激が強すぎてシワなどの原因にもなるが、それらの様々なマイナス要因を取り除き、皮膚に負担がかからず速やかに老廃物を排出させて質の良い筋肉を再生させるための大げさでない自由に持ち運べて使用出来る美容器具とした。マッサージ後は速やかにリンパの流れを促すためのブラシも取り付けた。これは従来顔のリンパドレナージュには手の指先を使用して皮膚を押さえて流すのが主流で行われているが、最近の研究では（公序良俗違反につき、不掲載）肌に負担がかからないようやさしくそっと触れる感じで行うのが最適と言われている。実際にやって見ると手の平で肌にそっと触れながらリンパ液を流すのには専門的な手法が必要なのでとても難しいため、試行錯誤の末化粧用ブラシを試み使用してリンパを流して見ると、手の平では得られなかつやさしい肌触りを感じた事がきっかけとなり、棒状軸の両先端にキノコ状笠の部位とブラシを取り付けて一体化し、多くの女性の悩みでもある顔のシワ、たるみを目立たなくし肌に張りとう柔軟性のある若々しい肌を取り戻し、従来にはない美肌づくりを可能にした美容器具である。

10

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】美容器具の全体図

【図2】ブラシ部位（リンパを流す）

【図3】ブラシを差し込む金具の部位

20

【図4】棒状軸

【図5】キノコの笠状円形皿状底辺部（マッサージをする）

【実施例】

【0008】

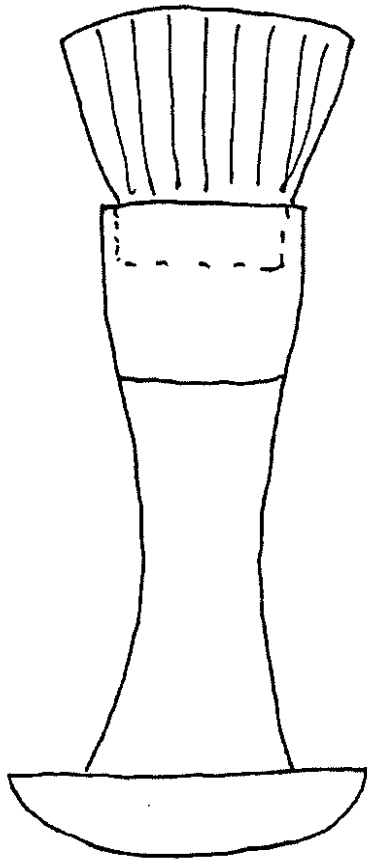
【実施例1】

軸棒を持ってキノコ笠底辺部を肌に密着させてのマッサージ方法。

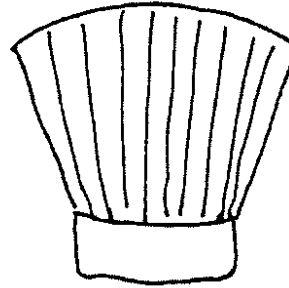
【実施例2】

ブラシを使って顔全体のリンパ液を流す方法。

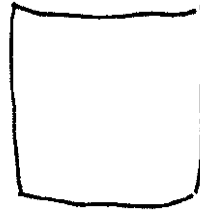
【 図 1 】



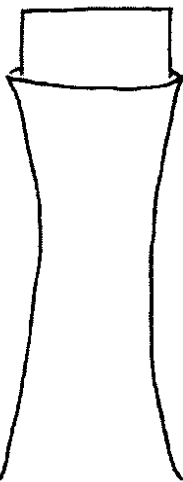
【 図 2 】



【 図 3 】



【 図 4 】



【 図 5 】



【手続補正書】

【提出日】平成25年9月18日(2013.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

両端の一方がキノコの笠形皿形状であって、他方にはブラシが取り付けられている軸棒からなる美容器具において、前記皿形状は中央の一部が平らであることを特徴とする美容器具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は美顔エクササイズなどの後に、表情筋などの筋繊維をもみほぐすためのマッサージ機能と、リンパの流れを促進するための機能を一体化させた美容器具に関する。

【背景技術】

【0002】

顔面の筋力アップエクササイズを目的とした様々な器具があるが特に皮膚表面上を器具をこころがしながら小顔にする美容器具は従来から知られている。しかしながらこの種の器具は顔面に刺激を与えて筋肉を鍛え、効果を得ようとするものであるが、筋肉を緩める目的はなく、むしろ皮膚細胞を傷つけるなどの問題もある。

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

本考案は顔のエクササイズ等の筋肉刺激により委縮し硬くなった表情筋の筋繊維や筋膜などゆるめてほぐし、顔全体の血行とリンパの流れを促進させて、肌本来の持つ弾力性と柔軟性を回復させる美容器具を提供するものである。

【課題を解決するための手段】

【0004】

上記課題を解決するため、請求項 1 に記載した美容器具（図 1）の底辺にキノコの笠を逆さにしたような皿形状の部位を設けた。その部位の表面中心部に軸棒を取り付け、軸棒の上部先端にはブラシを取り付けて一体化させた形状を特徴とする美容器具とした。

【0005】

皿形状底辺の丸みの部位には自由に肌に密着して筋繊維や筋膜までマッサージしながらほぐす役目を持たせ、軸棒の先に取り付けたブラシは肌にやさしく接しながら顔全体のリンパ液を簡単にリンパ節やリンパ管に流し送る役目を持たせた。

【0006】

筋力アップを目的として顔面の表情筋を鍛えるエクササイズをすると肌に張りが戻り、たるみやシワの解消になる事は周知の事であるが、その反面、運動による筋肉疲労と委縮により血管や筋膜等に圧がかかり、血液やリンパの流れが悪くなり、老廃物が体内に留まりがちとなるため、速やかに排泄させる目的を持たせた上記の構成からなる美容器具とした。

【考案の効果】

請求項１の形状（図１）を持つ美容器具の皿形状をした部位の底辺面を顔肌に密着させ、筋肉の奥までゆっくり押さ込みながら筋膜から筋繊維までを柔らかくゆるめ、速やかに老廃物を排出させて質の良い筋肉を保つためのマッサージを可能とした。

化粧用としてのブラシもあるが、皮膚にやさしく触れて刺激を軽減させる目的を持つリンパケア用ブラシと一体化させて、表情筋のマッサージもリンパケアも一緒に行える利便性を持たせた従来にはない形状とし、家庭内で簡単に張りのある肌を取り戻せる美容器具として提供した。

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月3日(2013.12.3)

【手続補正１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本考案は美顔エクササイズなどの後に、表情筋などの筋繊維をもみほぐすためのマッサージ機能と、リンパの流れを促進するための機能を一体化させた美容器具に関する。

【背景技術】

【０００２】

顔面の筋力アップエクササイズを目的とした様々な器具があるが特に皮膚表面上を器具をこころがしながら小顔にする美容器具は従来から知られている。しかしながらこの種の器具は顔面に刺激を与えて筋肉を鍛え、効果を得ようとするものであるが、筋肉を緩める目的はなく、むしろ皮膚細胞を傷つけるなどの問題もある。

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【０００３】

本考案は顔のエクササイズ等の筋肉刺激により委縮し硬くなった表情筋の筋繊維や筋膜などゆるめてほぐし、顔全体の血行とリンパの流れを促進させて、肌本来の持つ弾力性と柔軟性を回復させる美容器具を提供するものである。

【課題を解決するための手段】

【０００４】

上記課題を解決するため、請求項１に記載した美容器具（図１）の底辺にキノコの笠を逆さにしたような皿形状の部位を設けた。その部位の表面中心部に軸棒を取り付け、軸棒の上部先端にはブラシを取り付けて一体化させた形状を特徴とする美容器具とした。

【０００５】

皿形状底辺の丸みの部位には自由に肌に密着して筋繊維や筋膜までマッサージしながらほぐす役目を持たせ、軸棒の先に取り付けたブラシは肌にやさしく接しながら顔全体のリンパ液を簡単にリンパ節やリンパ管に流し送る役目を持たせた。

【０００６】

筋力アップを目的として顔面の表情筋を鍛えるエクササイズをすると肌に張りが戻り、たるみやシワの解消になる事は周知の事であるが、その反面、運動による筋肉疲労と委縮により血管や筋膜等に圧がかかり、血液やリンパの流れが悪くなり、老廃物が体内に留まりがちとなるため、速やかに排泄させる目的を持たせた上記の構成からなる美容器具とした。

【考案の効果】

請求項１の形状（図１）を持つ美容器具の皿形状をした部位の底辺面を顔肌に密着させ、筋肉の奥までゆっくり押さ込みながら筋膜から筋繊維までを柔らかくゆるめ、速やかに老廃物を排出させて質の良い筋肉を保つためのマッサージを可能とした。

化粧用としてのブラシもあるが、皮膚にやさしく触れて刺激を軽減させる目的を持つリンパケア用ブラシと一体化させて、表情筋のマッサージもリンパケアも一緒に行える利便性を持たせた従来にはない形状とし、家庭内で簡単に張りのある肌を取り戻せる美容器具として提供した。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 0 7 】

【図 1】美容器具の全体図

【図 2】ブラシ部位（リンパを流す）

【図 3】ブラシを差し込む金具の部位

【図 4】棒状軸

【図 5】キノコの笠状円形皿状底辺部（マッサージをする）